

令和 6年 5月 1日

父母の会だより

第55号

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

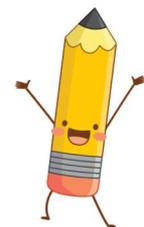
〈発行責任者〉豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217

FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



段ボール、梱包プチプチ、クリップ、ペットボトルキャップなどを使って版画を作りました。

*最終ページに作品の詳しいコメントがあります！



くすのき特別支援学校 高等部 普通科2年 小林 剛輝さんの作品

ホームページ <https://www.fubonokai-toyohashi.com>



公式 LINE



第55号 目次



| | |
|--|----|
| 1. 「医療的ケア児支援部会」出席報告 | 2 |
| 2. 情報交換会・勉強会開催報告 | 4 |
| 3. 福祉いろいろ情報 | 8 |
| 4. 父母会会員に対する短期入所・レスパイトについてのアンケート調査・意見等 | 9 |
| 5. 父母の会クリスマス会 2023 | 10 |
| 6. 父母の会定期総会 | 12 |
| 7. はたちのつどい | 13 |
| 8. 令和5年度第3回あゆみ学園 Q&A 報告書 | 14 |
| 9. 青い鳥郵便葉書のお知らせ | 18 |
| 10. 新しい仲間紹介 | 19 |
| 11. 今後の主な行事 あとがき | 21 |



「医療的ケア児支援部会」出席報告

6.2.21:県自治センター
豊橋市 中神

表題の自立支援協議会に出席しましたので、その概略を報告します。

1. 医療的ケア児者の実態調査について

令和元年度に県として医療的ケア児者の実態調査を行ったが、医療的ケア児者は個々の状況が変わりやすいため、継続的に状況把握を行っていく

(1)目的

・県内の医療的ケア児者(40歳未満)の人数及び生活状況や支援ニーズを把握し、市町村の施策・計画の基礎とするほか、県全域の実態把握をする。

(2)調査時点 R7年4月1日

(3)調査方法

・県から市町村に調査票等を送付し、市町村は対象者へ直接または相談支援事業所等経由で配布。対象者は調査票を記入する。記入後、市町村ごとにとりまとめ県へ報告する。

(4)調査項目

・R元年実態調査項目と概ね同様で14項目18種類とする。

2.医療的ケア児等コーディネーターの配置(県内54市町村あり)

*コーディネーターは相談支援専門員や保健師等が医療的ケア児とその家族からさまざまな相談を受け止め、各種相談の対応を調整し、総合的に対応する。

⇒R5/4月現在市町村合計326名が配置されている。(配置54市町村)

3.医療的ケア児と家族に対する支援ネットワーク構築事業(対象は18歳以下医療的ケア児)

(1)趣旨・目的

・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」(令和3年9月18日施行)が施行され、地方公共団体は医療的ケア児とその家族への支援実施責務となった。

愛知県においては、これまで医療的ケア児支援の体制整備が進められてきたが、その一方で今なお医療的ケア児の実数把握は十分出来ていないこと、更に自ら相談できず支援が受けられていない医療的ケア児と家族がいるのも事実である。

このような状況を踏まえ、本事業では医療的ケア児をもれなく確実に把握して市町村(福祉)に繋ぐために、医療的ケア児に関わる可能性のある病院を医療的ケア児支援センターと医療的ケア児等アドバイザーが連携して訪問し新体制構築する事業を展開する

*医療的ケア児支援センターは医療的ケア児支援法が施行され、今までの支援体制の整備に加え、地域では対応が困難で専門性が必要な相談への対応や、看護師、介護職員等の医療的ケア児への支援を担う人材の養成などを行う事とした。実質R4/4月から活動開始。

(2)具体的な事業

- ・医療的ケア児とその家族の情報集約窓口を市町村毎に固定し「窓口連絡先一覧」を、情報を入れる病院に配布し、市町村は年1回支援センターにその実績を報告し管理体制を整える。
- ・医療的ケア児に関わる可能性のある病院訪問し、市町村への情報提供に関する協力を依頼する。各市町村は協議の場の定例開催等情報交換を図り内容を充実させていく。

7.医療的ケア児通学モデル事業及び校外学習付添モデル事業について(再掲載 R5 新規)

- ・令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行され、国や地方自治体が医療的ケア児の支援を行う責務を初めて明文化された。⇒学校に在籍する医療的ケア児が保護者の付添がなくても適切な医療的ケアその他の支援を受けられるようにするため、看護師等の配置その他の必要な措置を講ずるものとする。

【必要な措置として対応を求められるもの】

○通学支援(スクールバスに乗れない場合は基本保護者送迎)

○校外学習付添支援(宿泊を伴う行事は保護者付添、日帰りも状況により依頼)

*通学支援モデル事業

- ・通常保護者が送迎を行っていて保護者都合により送迎が困難な場合、学校が手配した介護タクシー等に看護師が同乗し登校し、学習機会を保障すると共に保護者の負担軽減を図る。2023年度は名古屋特支をモデル校とし、将来的に全県実施に向けた検証を行う。⇒令和5年度6/1月まで6名利用

*校外学習付添モデル事業

- ・医師の指示により看護師の付添があれば校外学習が可能な児童生徒に対し、看護師の付添体制の構築を図る。2023年度はひいらぎ特支をモデル校とし、将来的に全県実施に向けた検証を行う。⇒令和5年度6/1月まで5名利用

以上

情報交換会・勉強会開催報告

6.2.24

行政との情報交換会・勉強会を2月23日あイトピアにて、障害福祉課・森高課長、土屋課長補佐にご出席いただき開催しましたのでご報告いたします。

中神

記

要望・質問事項等・順不同

<重点施策について>

- 豊橋市の第7期豊橋市障害者福祉実施計画、第3期豊橋市障害児福祉実施計画および障害福祉課の令和6年度の重点施策について教えていただきたいと思います。
- ➡豊橋市で策定された障害者福祉基本計画の理念は「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し、支え合いともに生きる地域社会の実現」となっています。今回の期間は2024年度から3年間です。
その成果目標は、
 - ・障害者は①福祉施設入居者の地域生活への移行②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築③福祉施設から一般就労への移行④地域生活支援拠点の維持と評価⑤相談支援体制の充実・強化⑥福祉サービス等の質を向上させるための取組み、となっています。
 - ・障害児は①重層的な地域支援体制の構築を目指すための児童発達支援センターの設置②障害児の地域社会の参加・包容を推進する体制の構築③主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保④医療的ケア児が登園、登校する保育所、学校等での看護師による医療的ケアの実施⑤発達障害児(者)を支える支援の推進、となっています。6年度はこの計画に基づいて推進していく。

<災害時について>

- 個別支援計画策定徹底のお願い
 - ・災害時の各個人の個別支援計画はとても重要だと思います。ただ現実的には相談員も手一杯でそこまで対応できていないのが実情だと思います。南海トラフ地震が想定されるなか障害児者の親としてはもし万が一の場合は何とかしたいと考えています。各施設等に個別支援計画策定の徹底を是非お願いします。
 - ➡災害時、障害児者の個別避難計画策定はとても重要であり引き続き徹底していきたい。
- 避難方法の徹底のお願い
 - ・令和3/5月に災害対策基本法が改正され福祉避難所に直接避難できる指定福祉避難所が制定され、安全な場合は自宅避難やホテル・旅館、親戚・知人宅にも避難できるようになりました。重心の子どもたちにとっては移動手段、避難所の問題等とても重要で是非避難方法の徹底をお願いいたします。
 - ➡重心児者の自宅避難所は安全であれば自宅避難が良いと考えられるのでPR出来る時はPRしていきたい。
- 災害時の避難行動要支援者名簿登録人数及びその活用方法について
 - ・災害対策基本法改正により避難行動要支援者名簿の登録について、従来は高齢者が中心でしたが、

医療的ケア児等、保護者だけでは避難が困難で支援を必要とする障害児等も対象であると明記されました。現時点の要支援者名簿登録の総人数、内障害児者及び 18 歳以下の障害児の人数を教えてください。また登録名簿の活用方法を教えてくださいと思います。

➡現在名簿登録人数(R4/12 末)は全体 10,122 人、内障害児者 4,533 人、内 18 歳以下 325 人である。なお、本人同意のもと民生委員等に提供の登録台帳は全体 1,229 人、内障害児者 475 人、内 18 歳以下 15 人です

●避難所等の耐震対策について

・今回の能登半島地震を見て南海トラフ地震が想定される地元のさくらピア、あイトピア、水道局(本局)等は震度 6~7 が来ても大丈夫なのかとても心配です。情報提供を是非お願いします。

➡ご指摘の建物は昭和 56 年以降に建てられたもので耐震基準は満たされています。

<医療的ケア関連>

●医療的ケアに対応できるショートステイの設置・増設について

・現在医療的ケアに対応できるショートステイについては、まだ一か所しかなく十分ではありません。また、少し前豊川市に重心施設が開所しましたが、重心施設であり、ショートステイの利用は思う様に利用できない状況です。ショートステイ利用は介護者のレスパイト支援や緊急時が多く、自立支援協議会等で医療機関や福祉施設で対応できるようにご努力頂いていますがなかなか実現していません。是非対処をお願いいたします。

➡医療的ケア児者に対応できるショートステイの重要性は認識しており対応していただいた場合は行政からも補助金を支給している。引き続き対処していきたい。

●医療的ケア児者の介護者に対応するレスパイト先の確保について

・医療的ケア児者の主な介護者の平均睡眠時間は県の令和元年度の調査で平均一日 5 時間未満が 35%という調査結果が出ており、主な介護者のお母さん方は毎日疲労困憊し過ごしています。買い物にも自由に出かけられず、自分の楽しむ時間もない日常生活が続いています。介護者がゆっくり体を休める為にはレスパイト先が必要ですが、豊橋はショートステイ先も少なくなかなかそういう所がありません。是非レスパイト利用可能な施設確保のご検討をお願いします。

➡レスパイト先の必要性は認識しており病院等を含めその確保に今後とも努めていきたい。

●看護師等の配置状況について

・R3/9 月に医療的ケア児支援法が施行されて、ケア児の保育・教育体制の拡充を求めると共に、適切な支援を行う事が責務であると明記され、看護師等を保育園や学校に配置するなどの「必要な措置を講じる」となっています。

市内の保育園や学校等の看護師等の配置状況について現状と今後の見込みについて教えてください。

➡障害児看護支援事業利用者は R5/12 名(保育/1 名、小/8 名、中/2 名、私立校/1 名)、R6/10 名の予定。常駐看護師 R5/3 名(保育/2 名、小/1 名)、R6/5 名の予定。

<生活介護事業所・グループホームの整備拡充>

●学校卒業後の受入れ体制について

・今後とも多くの卒業生が見込まれる中、肢体不自由者の生活介護事業所が少なく、学校卒業後の受

け入れ先があるのか高等部になると不安である。またあったとしても介護士・看護師等スタッフの人手不足や介護度の高い障害者の対応ができる人材がそろっているのか等心配であり是非施設の体制整備をお願いします。

➡6年度以降の福祉実施計画に目標数字等盛り込んであり、その目標に向けて推進していきたい。

●グループホームの整備拡充

・親の高齢化、親なき後等を考えた場合、身体障害者の自立支援施設としてのグループホームは現状少なく、共同生活を送りながら余暇時間に本人の趣味嗜好を活かした生活が送れるのか心配であるが、需要は益々高くなってきています。今後の整備拡充見込みを教えてください。

➡同上

<その他>

●豊橋市内の公園等、特にのんほいパークや桜ヶ丘公園、整備予定の「豊橋公園東側エリア」にインクルーシブ遊具設置のお願い

・豊橋市内には大小数多くの公園があり、殆どの公園にブランコ等の遊具が設置されています。しかし障害児者が安全に使用し楽しめるインクルーシブ遊具は殆どありません。

子どもたちにとって楽しく遊ぶことで、社会性を身に着け、体や脳への刺激を受けることや体力向上の効果を得る機会は平等に与えるべきこととあります。障害があってもなくてもみんなと一緒に遊べるインクルーシブ公園は、未来を担う子供たちに有益であると思います。

障害を持っていても公園の遊具に乗りたいという子どもたちが数多くいます。保護者等が介助しても利用できない遊具がほとんどです。

豊橋市としても障害児者がよく利用する「のんほいパーク」や「さくらピア」や「あイトピア」に隣接する「桜ヶ丘公園」、整備予定の「豊橋公園東側エリア」等、車いすでも自家用車で気軽に行ける駐車場完備の施設にインクルーシブ遊具を設置して頂けるようにお願いします。

➡整備時や遊具取り換え時にインクルーシブ遊具に変更するよう鋭意進めていきたい。

●補装具申請時のすみやかなご承認について

・補装具の申請の承認は最終的に県の判断になるとは思いますが、たいへん厳しくかつ認可までの日数がとても長くかかっています。耐用年数が過ぎても使えるようなら却下されると装具業者さんなどからも聞きます。壊れて使えなくなっからの作成ではそれまでの間困ってしまいます。特に車いすについては作成期間も長くなり、日常生活に支障が出てしまいます。耐用年数が過ぎたらすべて作り直しの判断は必要ないですが、業者さんのメンテナンスの判断と医師の作成の判断により作り直しの申請があった場合には確認事項も多いと思いますがすみやかにご承認していただくよう、県に働きかけをお願いいたします。

➡申請時に最低限の確認事項等はいくつかありますが、出来るだけ早く処理していただけるようお願いしていきたい。なお、R4年度からは支給決定年度越えの納品が可能になりました。

●インクルーシブ児童クラブ導入検討のお願い

・インクルーシブ教育は学校保育では一部実施されていますが児童クラブにも導入して欲しいと思います。障害の有無に関わらず一人の友達として関わり、誰かに教わるのではなく一緒に過ごす時間の積み重ねでお互いの成長に繋がり、差別や偏見は生まれなくなり障害のある子どもたちが安心して暮ら

せる共生社会になると思います。ご検討よろしくお願ひいたします。

➡インクルーシブ教育について国連が 22/9 月に日本に対して勧告しており、今後その機運は高まってくるのが予想されます。共生社会の実現に向けて地道にやっていきたい。

●心身障害高校生奨学金の支給対象高校拡大のお願い

・現在、心身に障害がある子どもたちが盲学校・ろう学校・特別支援学校高等部に通学している場合に月 1 万円の奨学金が支給される制度がありますが、近頃それ以外の高校に通学している子供も増えて来ています。通学にかかる費用は一般の生徒以上の場合が多く、定期代・制服や学用品、他に悪天候時の送迎等が時々発生します。是非奨学金支給対象学校の拡大をお願いいたします。

➡支給対象学校には高校も含まれている。ただ所得制限がかなり厳しくこの部分については市では対処不可。

●アクアリーナ豊橋の障害者駐車場について、雨天時は右横庇のある所への一時駐停車許可のお願い

・アクアリーナの駐車場について、車椅子用駐車場ができてありがたいと思っておりますが、玄関からは遠く、雨が降れば障がい者も介助者もずぶ濡れです。せめて雨天時だけは右横の庇がある所へ止め、中へ入れる通路を利用させていただければ大変助かりますので対応の検討をよろしくお願ひいたします。

➡アクアリーナは雨天利用時、随時依頼があればその都度対処したい。

●車椅子で公共交通機関の利用時の困りごとについて

・車いすで JR 豊橋駅の公共交通機関を利用した場合、介助者同伴であっても必ず「駅員さんが立ち合わないと乗せてもらえない」という現実があります。そのため駅員さんの手が空くまで来てもらえず乗れるはずの電車に乗れなかった経験が多々あります。東京駅や大阪駅などでは、駅員のサポートが必要か否かを尋ねられ「不要です」と言えばそのまま乗ることが出来ます。豊橋駅においてはお願いしてもなかなか柔軟な対応をしていただけないため困っております。

➡利用時個別にお願いしていく。⇒JR 東海サービス相談室に相談: JR 東海としてはバリアフリーを進めているがまだ完全ではなく、車両とホームの間が広かったり、段差がある場合が多く、お客様の安全確保の為に必ず駅員がサポートするように徹底しているのでご理解いただきたいとのことです。

●豊鉄バスでICカードが使えるようにしてほしい

手帳で半額になるのはありがたいですが、乗車時に券をとって、降車時に手帳を見せて、財布から小銭を出して支払うのは、片手の子どもには意外に難しいです。バスは一人で利用しますが、荷物を持っている時や雨の日は、片手でこの手順をこなして割引を使うのは大変で(面倒なのもあると思いますが)、手帳を使わず正規料金で支払い、バスを利用しています。IC支払いができるようになると、乗車時と降車時にカードをタッチするだけになるので、小銭の準備などもしなくていいしすごく利便性が高まります。是非ICカードが使えるようにしてほしいと思います。

➡豊橋鉄道に確認したところ、市内を走行しているバスについて現在ICカード利用に変更すべく準備中。設置台数が多くあと半年から 1 年位かかる見込みである。出来るだけ早く設置するようにしていきたい、とのことです。

以上

福祉いろいろ情報

豊橋市障害者福祉ガイドブック「くらたあ」2024年版



・くらたあ・

【参考:補装具等の年度またぐ申請について】
2022年4月から年度内納品の縛りがなくなりました。
必要な時期に申請することで対応できるようになりました。

障害児・者のための 「豊橋市医療的ケアガイド」



・医療的ケアガイド・

【参考】
令和5年度から
「看護職員等による医療
的ケア児者の移動支援」
が利用できるようになりました。

☆交通運賃の助成☆

タクシー料金助成券、交通助成券の
配布が始まっています。
令和7年3月31日までですので、必
要な方は障害福祉課窓口までお出か
け下さい。(5/9~9/30は窓口セン
ターでもOK)
詳しくはくらたあ、または福祉課HPを
ご覧ください。

障害者手帳アプリ「ミライロID」はご存じですか？

施設入場などで障害者割引等を受ける際、障害者手帳を提示しなくてもスマホでミライロIDアプリ画面を提示することで割引を受けることができる施設が増えてきました。豊橋市の施設「のんほいパーク、自然史博物館、美術館、視聴覚センター、二川本陣資料館、りすば豊橋、とめちゃりん等駐輪場」で利用可能です。JR各社、映画館等でも手帳を出さなくてもスマホの対応で気軽に提示できますよ！

アプリは
App Store、Google Play
より、ダウンロード下さい。



こども家庭庁より「こども未来戦略」が発出され、障害児に関する補装具費支給制度の撤廃(以下の3事業)が示されました。

- ・補装具費支給事業(障害児・18歳未満の難病患者のみ)
- ・日常生活用具費支給事業
(障害児・18歳未満の難病患者のみ)
- ・軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業
~負担額等詳細については市役所にお問合せ下さい~

*アンケート調査を行った下記の件についてご報告し、今後の要望等に取り入れていきます

父母の会会員に対する短期入所・レスパイトについてのアンケート調査・意見等 2023.10月

<短期入所> 回答総数 97名

- ① 現在利用している事業所がある・・・43名(44.4%)
 - ・呼吸器を装着しているので、一床では利用しづらい
- ② 契約はしているが、利用はしていない・・・14名(14.4%)
 - ・現状利用しなくても大丈夫だから 3名
 - ・本人が利用を了承しない
 - ・契約審査中、今後利用予定
 - ・利用させてもらえない
- ③ 利用したいが、利用も契約もしていない・・・15名(15.5%)
 - ・コロナ禍で今は利用できないと言われた
 - ・現状家族介護で困っていない。まだ考えていない 6名
 - ・一人生活が不安 2名
 - ・本人が入所を希望
 - ・見学时、暴力等のある可能性を感じたから
- ④ 利用したいが、利用できる事業ところがない・・・3名(3.1%)
 - ・支援員に相談したら、動けるから難しいと言われた
- ⑤ 短期入所を利用する必要はない・・・22名(22.6%)
 - ・入所している 4名
 - ・就職している 2名
 - ・家族介護で現状困っていない。まだ考えていない。必要ない 13名
 - ・分からない

<レスパイト先> 回答総数 90名(他に無回答 7名)

- ① 一般のレスパイト先があれば利用したい・・・24名(26.7%)
 - ・親の高齢化に備えるため
 - ・介護者の休息の為
 - ・手続きが複雑でなく気軽利用したい
 - ・アットホームなショートステイを希望
- ② 医療機関のレスパイト入院を利用したい・・・16名(17.8%)
 - ・何かあった時に対応可能だから 10名
 - ・現在利用しているが、近くにあれば利用したい 2名
- ③ レスパイト先やレスパイト入院は必要ない・・・50名(55.5%)
 - ・現在入所中 6名
 - ・現在就職している 2名
 - ・現在家族で対応しており、まだ考えていない 17名
 - ・レスパイトの意味が分からない

以上



父母の会 クリスマス会 2023

昨年度より会場でのクリスマス会を開催させていただいています。今年はコロナが5類に移行され、徐々に日常が戻っている中インフルエンザが心配な状況ではありますが、多くの皆さんにご参加いただき楽しく催すことができました。

午前の部では会員の尾藤直斗くんのお母さんとお姉さんそしてそのお友達の3人構成での「プチ鼓響」として太鼓の演奏、太神楽ではころびやねんざさん、そしてあゆみ学園の田中先先生と児童部スタッフとでクリスマスソングの演奏会と楽しい内容でした。

会員のきょうだい児さんも年々成長し、受付のお手伝い、司会進行、合奏、障害児の付添・・・と大活躍！父母の会の行事できょうだい児さん同士仲良くボランティアしてくれているのはとてもうれしいことです。児童部スタッフの山本さんからそんな話をみなさんに伝えて下さり、どんどんきょうだい児さんの輪が広がるといいですね。

午後の部では恒例の「豊橋ユースオーケストラ」の演奏。去年よりも大所帯となり迫力のある演奏をしてくださいました。YOASOBI など今人気アーティストの歌やクリスマスソングでみんな大盛り上がりでした。午後の部でもころびやねんざさんが登場し、大きなコマを手に乗せてもらったり・・・体験もさせてもらって楽しそうでした。

午前も午後もサンタさんからはお菓子のプレゼントをもらい、最後にケーキのお土産を受取りみなさん「またね～！」と来年の行事を楽しみに帰っていかれました。

このクリスマス会において、午前の部ではサンタに扮しさまざまな場面で会場を盛り上げてくださった豊橋特別支援学校の彦坂校長、午後の部のご来賓の皆様・・・貴重なお時間を割いてご参加下さりありがとうございました。また、ボランティアとして参加下さった方々、善意のお菓子を寄贈して下さいました豊橋善意銀行さんにも感謝申し上げます。

ご参加くださった会員のみなさんもうかがございました。



令和5年12月29日

豊橋ユースオーケストラ
団長 鈴木良輔様
団員 ご一同様

豊橋市肢体不自由児（者）父母の会
会長 中神達二

クリスマスコンサートの御礼

拝啓

12月24日は当父母の会のために素晴らしいクリスマスコンサートを開催して頂きまして本当にありがとうございました。素晴らしい心に響き渡る感動という何ものにも代えがたい大きなプレゼントを頂戴し会員一同深く感謝申し上げます。

演奏を聴きながら障害を持った子どもたちが日ごろ見せたことのないとびっきりの笑顔で声を出して歌ったり、体を動かしたりして本当に楽しそうでした。声を出せない子もアーアー、ウーウーと音に合わせて一生懸命歌い、今まで眠そうな目をしていた子どもたちが目をパッチリ開けて聴き入っている様子など心打たれる姿があちこちで見られました。

子どもたちにとって普段聴くことのない生の演奏に接することが出来本当に嬉しかったのだと思います。最近は音楽療法ということも改めて見直されており、障害を持っている子どもたちにとって音楽はとても良いと言われています。本当にありがとうございました。

日頃各地でご活躍されている素晴らしい貴ユースオーケストラ様の益々のご発展を祈念し御礼の挨拶とさせていただきます。

敬具

とても楽しかったクリスマスコンサート!!

クリスマスコンサートとても楽しかったです。

私は生演奏を聴く機会があまりないので、いつもクリスマス会での演奏をとても楽しみにしています。

今回のプログラムも私の好きな曲がたくさんあり、一緒に歌ったり手拍子したりして楽しい時間を過ごすことができました。

来年もまた演奏が聴けるのを楽しみにしています。

ありがとうございました。

村松誠子

中神会長、お疲れ様でした！

3月30日(土)父母の会定期総会が開催されました。

今年は暖冬といわれる中、寒暖差の激しい日が多く、3月に入ってから暴風・強風が続いたり雨で冷え込んだりと体調維持が難しいほどの落ち着かない気候が続いていました。

総会当日は父母の会の新しく始まる年度を祝うかのように穏やかな日差して暖かな日となりました。

そして、この日は22年間会長を務められた中神さんの勇退の日となりました。

この22年間で障害福祉はめまぐるしく変化をし、措置から支援費制度となり、当事者がサービスを選択できるようになり、その後障害者自立支援法へと移り変わりさらに見直しを経て障害者総合支援法へと動いてきました。

22年前を思うと福祉サービス等かなり改善されてきてたいへんありがたく思っておりますが、そんな中でもオムツの支給条件(支給対象の発症年齢の変更)、移動支援等について様々な地域生活に密着したサービスの改善を中神さんが要望し続けてくださったおかげで見直された案件がいくつもあります。

障害児者に対して一人一人に愛情をもって接してこられて、会員のこどもたちからも大人気で身近に感じられる中神さんでしたが、様々な活動の実績を評価され平成29年に「厚生労働大臣賞」も受賞されています。

平成27年には献身的に介護されていた息子の賢吾さんもなくされて、哀しさみしさもあつたはずですが、それでも会員のみなさんのために今までご尽力されてきました。中神さん本当に長い間ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

尚、本年度からは父母の会顧問として引き続き会員のみなさんを見守ってまいります。会長の後任として後藤が今後役員理事のみなさんと協力しながら父母の会の活動を継承してまいります。

より一層、会員のみなさまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年4月1日 後藤久代

令和6年3月30日(土)

あいトピア3階多目的ホールにて定期総会を開催しました。

12名のご来賓にご臨席賜り、4名の方からご祝辞もいただきました。

また、議事については全て滞りなく承認されました。

第二部は「ハンマーダルシマー」奏者の平野明子様をお迎えし、ダルシマーズのみなさんと共に素敵な音色を会場に響かせてくださいました。

たまも荘障害者生活支援センターさんにも共催としてお力添えいただきました。

また、当日ご参加くださったみなさんもありがとうございました。



定期総会 感想文

ハンマーダルシマーの演奏には、圧巻でした。神秘的な、天高い世界とつながっているような演奏でした。まるでどこか遠くの教会に行ったような、素敵な時間でした。

また、皆さんの春っぽい素敵な衣装、たくさんの花の写真で元気になりました。

豊橋公園や幸公園など、花を見ながら散歩したいです。家でも何か花を育てたくまりました。

YouTube 絶対に見ます。

また、あイトピアに演奏に来てほしいです。

中神さんには私がこの会に入る前から、長い間大変お世話になりました。私を素敵な会に招待していただいたり、私たちやその家族のために、ご尽力していただいたり、ありがとうございました。

役員の皆さま、いつも楽しい会や人生のためになる講演会を開催していただきありがとうございます。

松井理恵

祝！！
はたち！！

はたちのつどい

 2024. 1. 6 於：あイトピア

1月6日、あイトピアではたちの集いが開催されました。今年は市内で65名の方が新成人を迎えられました。父母の会の会員の方は2名です。

お名前は **金子耀成さん、正木優衣さん**、です。

本当におめでとうございます。

式はお祝いの言葉、記念品贈呈、ご祝辞、誓いの言葉、記念撮影で終わることが出来ました。

その後トントさんのコメディパフォーマンスを全員で楽しみました。

今年もみんなで「はたち」を祝福できてとても良かったです。おめでとうございます!!

NT



令和 5 年度第3回あゆみ学園 Q&A 報告書

令和 5 年 11 月 30 日

於:あゆみ学園リハ棟

今年度 3 回目のあゆみ学園 Q&A を開催させていただきました。
今回は『休日の過ごし方』というテーマのもと、父母の会より児童部スタッフ 3 名と、あゆみ学園から約 10 名の保護者の方の参加で行いました。

まずスタッフが自己紹介と、事前にいただいたアンケートをもとに田中先生の進行にて質疑を行いながら経験談をお話させていただきました。

Q:就学前のお出かけについてアドバイスがあれば教えてください。

A:

・高 3 男子(豊橋特別支援学校)

就学前や幼い頃は車では出かけていたが電車は利用していなかった。
高3の今、急に電車を利用してみたら、障害者の切符の買い方から分からずに戸惑ってしまった。
どの車両にも車椅子スペースがあるわけでもなく、どこに居たらいいのか、手を舐めたり大きな声を出したりするので周りの視線も気になり大変だった。
幼い頃から乗り慣れておくと親も勉強になっていいかもしれない。

・高 3 男子(豊橋特別支援学校)

子供が大きくなるとどんどん介助が大変になって行くので、アトラクションに乗せたり、滑り台に登ったりできなくなるので身軽なうちに色々な体験をさせてあげてほしい。

・中 3 男子(地域中学校、支援級)

電車が好きなので市外、県外も大変であったが電車に出掛けた。
小さいうちに乗車して騒いだとしても障害だからというより小さいからでまだ許されるし、人目に対する耐性をつけていくことが出来る(親が)

・中 3 女子(地域中学校、普通級)

子供の成長と共に親も老いていくので、小さいうちに遠方やアクティブな遊び、付き合えることはやっておいた方が良い。

地域の学校を考えているなら、校外学習、修学旅行等電車に乗ることや沢山歩くことも多々あり、子供の体力の限界や困り事、サポートして欲しいことを把握するために学校で行く所は下見をするとうい。

エレベーター、スロープの場所、多目的トイレ、食事する場所は事前に調べて体験させておくと先生に細かく伝えられてみんなと一緒に経験可能となる。

Q:おすすめのお出かけスポットを教えてください。

A:

・高3男子(豊橋特別支援学校)

うちの子は興味のある物が分かりにくい。

遠くの小さいものは認識しづらいので、動物園より至近距離で見れる水族館の方が分かりやすいのでよく連れて行った。キラキラ光るものに反応がよかったので、イルミネーションなども喜んだ。

蒲郡のファンタジー館は近くて割引もあるのでオススメ。バリアフリーになっているので車椅子、バギーでも大丈夫。

・中3男子(地域中学校、支援級)

うちは興味あるものに奥までハマるタイプで、魚、動物、鳥、電車にハマり休日はほぼそれらに関するお出掛けをしていた。

水族館、動物園は大きい都市(県や市からの補助あり)だと障がい者割引が介助1名でなく2名で無料や半額等割引が大きい。

またお金を掛けず、ペットショップや公園、川等に出掛けるだけでも意外と生き物を沢山発見出来て喜んだ。

・高1男子(私立高校)

休暇村のコテージは何回も使いました。手帳があると(うちは2種なので12歳まで)

素泊まりならコテージ1棟の料金が25%引きだった。

伊良湖は近いのでかなり行った気がする。バリアフリーの棟もあります。近くてもお出かけしましたよって満足するのでオススメ。

豊橋限定なのか、野外教育センター主催のイベントもオススメ。5年生で野外に行くからどんな場所か分かり、火の使い方とかもプロが教えてくれた。

修学旅行下見ツアーもやったが、これは子どもたちに好評だった。わざわざ先に行くことはないが、余裕がある分、想定外のハプニングを楽しめたように思う。

Q:きょうだいの行事参加等について教えてください。

A:

・中3女子(地域中学校、普通級)

先の進路のこともあるが、周りへの周知の為に姉の行事など事あるごとに連れていった。

実際の状態を見てもらい、出来ることやコミュニケーションを見てもらった。

連れていくことで存在だけでも知ってもらえる。

事前に学校に電話などで相談して駐車場を確保してもらおうなどすると、より知ってもらえることもできる。

・高3男子(豊橋特別支援学校)

きょうだいの学校などへ連れて行く場合、きょうだいの意思を尊重していた。
うちの場合、姉が小さい頃から弟(患児)をほとんど連れて行かなかったため、周りの友達に弟のことを知ってもらえる機会を作れなかった。
そのため周りの友達に弟のことを隠すようになってしまった。
今では後悔している。
小さいうちから自然に周りに知ってもらえる環境を作るべきだった。

Q:その他アドバイスなどがあったら教えてください。

A:

・高3男子(豊橋特別支援学校)

(特支の修学旅行)
我が子の場合ですが、拘りが強くなってきていてだんだん寝なくなったり食事を慣れないところでは摂らなくなったりしていた。
が、修学旅行はやはりいつもの仲間、いつもの先生、そして先生方の工夫で食事摂ることができ、眠ることもできた。
地域とは違って個々を見てくれる。

・中3女子(地域中学校、普通級)

新幹線は高いから小さいうちに利用すべし！笑
車椅子だと、多目的室にしろ車椅子席にしろ、指定席になっちゃうから高くなっちゃいます。
車椅子対応してもらえると駅で迷わないし、たまに東京駅の旧道(赤レンガの道)を通らせてもらえる！
支援級の修学旅行は、先生は全体の下見しかしてくれない。
保護者による障がいのある子独自の下見が必要で、子供を連れて綿密な事前準備がしておくこと当日安心できる。

・高1男子(私立高校)

自分で荷物の準備をさせるとか、公共交通機関使うとか、今役に立っている。
失敗してもフォローできる時に経験しておくこと、お互い嫌な気持ちにならず、どういう場面が困るとか、サポートがほしいとか共有できるように思う。(食事とか着替えとかお風呂とか大きい荷物とか、お金の使い方など)

来年度も3回のQ&Aを開催する予定です。

就学前の保護者の方に我々の経験談はとても参考になるとのお声をいただいています。

ぜひ会員の皆様にもご協力をお願いいたします。



青い鳥郵便葉書

無償配付のお知らせ

受付期間：2024年4月1日(月)～5月31日(金)まで
(お渡しは、2024年4月22日(月)以降となります。)

○配付の対象となる方

- (1) 重度の身体障がい者
1級又は2級の方
- (2) 重度の知的障がい者
療育手帳に「A」(又は1度、2度)の
表記がある方

○配付する葉書及び枚数

- お一人につき次の葉書の中から
いずれか1種類を20枚
- ・通常郵便葉書
(無地、インクジェット紙又はくぼみ入り)
 - ・通常郵便葉書胡蝶蘭
(無地又はインクジェット紙)

○申込方法

ご希望の方は、身体障害者手帳又は療育手帳をご持参いただき、「青い鳥郵便葉書配付申込書」(右の用紙)に必要事項をご記入の上、お近くの郵便局にお申込みください。
※代人のお申込みも可能です。

(切り取り)

青い鳥郵便葉書配付申込書

整理票

| 【手帳の種類】 | | 【級別又は程度】 |
|-----------------|------------|--|
| 身体障害者手帳 | | 1級・2級 |
| 療育手帳 | | A・1度・2度 |
| 希望する葉書種類 | | 1. 無地 2. インクジェット 3. くぼみ入り 4. 胡蝶蘭無地 5. 胡蝶蘭インクジェット ※希望する葉書種類に一つ〇をしてください。 |
| 本人 | 氏名 | |
| | 手帳の住所 | (郵便番号) |
| | 配付先 | 1. 手帳の住所と同じ 2. その他の場所 (郵便番号) |
| 代人 | 氏名 | |
| | 続柄 | 1. 親族 2. その他() |
| | 住所 | (郵便番号) |
| 郵便局使用欄 (備考欄) | 受付局 日付印 | 発送局 日付印 |

(切り取り)

注 代人の欄は、本人に代わって青い鳥郵便葉書を申し込む場合に、その代人名等を記入してください。
※ お客さまの個人情報は、本件以外の目的には使用いたしません。



申込みをして、使用しないハガキがありましたら
父母の会に寄贈をよろしくお願ひします。



申請は
5/31まで!



新しい仲間紹介



なまえ

浅田 一華 (あさだ ひとか)

通所施設

あゆみ学園 年長

好きなこと

食べること

得意なこと

お散歩が大好き。最近はお尻で動いて好きな場所に行くようになりました

がんばっていること

歩けるようにリハビリがんばっています。歩けるようになったら妹・弟と手をつないで歩きたいです！

なまえ

大中原 愛依 (おおなかはら あい)

通所施設

あゆみ学園

好きなこと

トランポリン・うた

がんばっていること

飲み込む事が苦手で味見する練習、横向き、うつ伏せが苦手でリハビリ頑張っています

PR

最近笑顔が出て来て色々な表情を見せてくれます。見かけたら声掛けてくれると嬉しいです(^^)





<今後の主な行事予定>

5月22日(水) ○父母の会 Q&A 委員会・あゆみ学園

5月26日(日) 善憲フェスティバル・豊橋動植物公園

6月15日(土) ○愛肢連定期総会

6月22日(土) 豊障連大会・あイトピア

7月11日(木) ○父母の会 Q&A 委員会・あゆみ学園

8月 3日(土) 豊障連納涼夏祭り・さくらピア

8月25日(日) いきいきフェスタ・ライフポートとよはし

9月22日(日) 野外訓練会・豊橋動植物公園

9月28日(土) さくらピア防災訓練・さくらピア



○印の参加募集ありません

※予定は順次ご案内いたします。急な変更・中止となる場合がございます。ご了承のほどお願い致します。

☆あとがき☆

・今回の表紙は小林剛輝さんの作品です。「2箇所ほど穴があいてますが、擦ったときにできたものではなく、仕上がった後に自らの指であけてしまったものです。剛輝にとっては、穴をあけて完成! だだにちがいません!!素晴らしい作品が出来上がりました。」と、コメント頂きました。とても素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたいと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、松井理津子、磯田しのぶ、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードをプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

- ・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話または FAX かメールにてご連絡お願いいたします。掲載したいミニ情報もこちらまでよろしくお願いします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com